



モビリティの設定

- [モビリティコントローラの設定, 1 ページ](#)
- [モビリティエージェントの設定, 11 ページ](#)

モビリティコントローラの設定

統合アクセスコントローラの設定

ピアグループ、ピアグループメンバー、ブリッジドメインIDの作成 (CLI)

はじめる前に

- モビリティエージェントでは、モビリティコントローラのIPアドレスだけを設定できます。
- モビリティコントローラでは、各ピアグループメンバーのピアグループおよびIPアドレスを定義できます。

手順の概要

1. **wireless mobility controller**
2. **wireless mobility controller peer-group *SPG1***
3. **wireless mobility controller peer-group *SPG1* member ip *member-ip-addr* public-ip *public-ip-addr***
4. **wireless mobility controller peer-group *SPG1* member ip *member-ip-addr* public-ip *public-ip-addr***
5. **wireless mobility controller peer-group *SPG2***
6. **wireless mobility controller peer-group *SPG2* member ip *member-ip-addr* public-ip *public-ip-addr***
7. **wireless mobility controller peer-group *SPG1* bridge-domain-id *id***

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	wireless mobility controller 例： Switch(config)# wireless mobility controller	デバイスのモビリティコントローラ機能をイネーブルにします。このコマンドはスイッチだけに適用されます。デフォルトのコントローラはモビリティコントローラです。
ステップ 2	wireless mobility controller peer-group SPG1 例： Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG1	SPG1 という名前のピアグループが作成されます。
ステップ 3	wireless mobility controller peer-group SPG1 member ip member-ip-addr public-ip public-ip-addr 例： Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG1 member ip 10.10.20.2 public-ip 10.10.20.2	ピアグループにモビリティエージェントを追加します。 (注) 10.10.20.2 は、モビリティエージェントの直接 IP アドレスです。NAT を使用する場合、任意のパブリック IP アドレスを使用して、モビリティエージェントの NATed アドレスを入力します。NAT を使用しない場合、パブリック IP アドレスは使用されず、デバイスはモビリティエージェントの直接 IP アドレスを表示します。
ステップ 4	wireless mobility controller peer-group SPG1 member ip member-ip-addr public-ip public-ip-addr 例： Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG1 member ip 10.10.20.6 public-ip 10.10.20.6	ピアグループ SPG1 に別のメンバーを追加します。
ステップ 5	wireless mobility controller peer-group SPG2 例： Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG2	別のピアグループ SPG2 を作成します。
ステップ 6	wireless mobility controller peer-group SPG2 member ip member-ip-addr public-ip public-ip-addr 例： Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG2 member ip 10.10.10.20 public-ip 10.10.10.20	ピアグループ SPG2 にメンバーを追加します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 7	wireless mobility controller peer-group <i>SPG1/bridge-domain-id id</i> 例： <pre>Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG1 bridge-domain-id 54</pre>	(任意) 他の SPG でサブネット VLAN マッピングを定義するために使用される SPG1 にブリッジドメインを追加します。

次に、ピアグループを作成し、メンバーを追加する例を示します。

```
Switch(config)# wireless mobility controller
Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG1
Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG1
Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG1 member ip 10.10.20.2 public-ip
10.10.20.2
Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG1 member ip 10.10.20.6 public-ip
10.10.20.6
Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG2
Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG2 member ip 10.10.10.20 public-ip
10.10.10.20
Switch(config)# wireless mobility controller peer-group SPG1 bridge-domain-id 54
```

ピアグループ、ピアグループメンバー、ブリッジドメイン ID の作成 (GUI)

はじめる前に

- デバイスがモビリティコントローラ状態にあることを確認します。
- モビリティエージェントでは、モビリティコントローラの IP アドレスだけを設定できます。
- モビリティコントローラでは、各ピアグループメンバーのピアグループおよび IP アドレスを定義できます。

ステップ 1 [Controller] > [Mobility Management] > [Switch Peer Group] と選択します。
[Mobility Switch Peer Groups] ページが表示されます。

ステップ 2 [New] をクリックします。

ステップ 3 次の詳細を入力します。

- a) スイッチピアグループ名
- b) ブリッジドメイン ID
- c) Multicast IP Address

ステップ 4 [Apply] をクリックします。

ステップ 5 [Save Configuration] をクリックします。

ローカル モビリティ グループの設定 (CLI)

モビリティ グループが MC のグループである場合の、ワイヤレス モビリティ グループとモビリティ グループ メンバーの設定。

はじめる前に

MC は 1 つのグループだけに所属できますが、複数のモビリティ グループ内の MC を認識できません。

手順の概要

1. **wireless mobility group name** *group-name*
2. **wireless mobility group member ip** *member-ip-addr***public-ip** *public-ip-addr*
3. **wireless mobility group keepalive interval** *time-in-seconds*
4. **wireless mobility group keepalive count** *count*

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	wireless mobility group name <i>group-name</i> 例： Switch(config)# wireless mobility group name Mygroup	Mygroup という名前のモビリティ グループを作成します。
ステップ 2	wireless mobility group member ip <i>member-ip-addr</i> public-ip <i>public-ip-addr</i> 例： Switch(config)# wireless mobility group member ip 10.10.34.10 public-ip 10.10.34.28	Mygroup モビリティ グループにモビリティ コントローラを追加します。 (注) NATを使用する場合、任意のパブリック IP アドレスを使用して、モビリティ コントローラの NATed IP アドレスを入力します。
ステップ 3	wireless mobility group keepalive interval <i>time-in-seconds</i> 例： Switch(config)# wireless mobility group keepalive interval 5	モビリティ メンバーに送信される 2 つのキープアライブの間隔を設定します。
ステップ 4	wireless mobility group keepalive count <i>count</i> 例： Switch(config)# wireless mobility group keepalive count 3	メンバー ステータスがダウン状態に移行するまでのキープアライブ再試行回数を入力します。

```
Switch(config)# wireless mobility group name Mygroup
Switch(config)# wireless mobility group member ip 10.10.34.10 public-ip 10.10.34.28
Switch(config)# wireless mobility group keepalive interval 5
Switch(config)# wireless mobility group keepalive count 3
```

ローカル モビリティ グループの設定 (GUI)

はじめる前に

モビリティ コントローラは1つのグループだけに所属できますが、複数のモビリティ グループ内のモビリティ コントローラを認識できます。

ステップ 1 [Controller] > [Mobility Management] > [Mobility Global Config] と選択します。
[Mobility Controller Configuration] ページが表示されます。

ステップ 2 次の詳細を入力します。

a) Mobility Group Name

b) モビリティ キープアライブ インターバル

c) モビリティ キープアライブ カウント

d) マルチキャスト IP アドレス (マルチキャスト モードをイネーブルにして、モビリティ メンバーにモバイル通知メッセージを送信する場合)

(注) マルチキャスト IP アドレスをイネーブルにしないと、デバイスはユニキャスト モードを使用してモバイル通知メッセージを送信します。

ステップ 3 [Apply] をクリックします。

ステップ 4 [Save Configuration] をクリックします。

ピア モビリティ グループの追加 (CLI)

はじめる前に

MC は1つのグループだけに所属しますが、複数のグループ内の MC を認識できます。

手順の概要

1. **wireless mobility group member ip member-ip-addrpublic-ip public-ip-addrgroup group-name**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<pre>wireless mobility group member ip member-ip-addr public-ip public-ip-addr group group-name</pre> <p>例 :</p> <pre>Switch(config)# wireless mobility group member ip 10.10.10.24 public-ip 10.10.10.25 group Group2</pre>	Mygroup 以外のグループにメンバーをピア MC として追加します。

ピア モビリティ グループの追加 (GUI)

はじめる前に

モビリティ コントローラは1つのグループだけに所属しますが、複数のモビリティ グループを認識できます。

ステップ 1 [Controller] > [Mobility Management] > [Mobility Peer] と選択します。

[Mobility Peer] ページが表示されます。

ステップ 2 [New] をクリックします。

ステップ 3 次の詳細を入力します。

- a) モビリティ メンバー IP
- b) モビリティ メンバーのパブリック IP
- c) モビリティ メンバーのグループ名
- d) Multicast IP Address

ステップ 4 [Apply] をクリックします。

ステップ 5 [Save Configuration] をクリックします。

ローミング動作のオプションパラメータの設定

この設定により、スティッキアンカーをディセーブルにします。必要に応じ、このコマンドは、ターゲット SSID にローミングが必要なすべての MA と MC との間で使用できます。

手順の概要

1. wlan open21
2. no mobility anchor sticky

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	wlan open21 例： Switch(config)# wlan open20	WLAN を設定します。
ステップ 2	no mobility anchor sticky 例： Switch(config-wlan)# no mobility anchor sticky	デフォルトのスティッキモビリティアンカーをディセーブルにします。

```
Switch(config)# wlan open20
Switch(config-wlan)# no mobility anchor sticky
```

モビリティコントローラの **Mobility Oracle** への指定 (CLI)

はじめる前に

既知のモビリティコントローラ上で Mobility Oracle を設定できます。

手順の概要

1. **wireless mobility group member ip member-ip-addr group group-name**
2. **wireless mobility oracle ip oracle-ip-addr**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	wireless mobility group member ip member-ip-addr group group-name 例： Switch(config)# wireless mobility group member ip 10.10.10.10 group Group3	MC を作成してモビリティグループに追加します。
ステップ 2	wireless mobility oracle ip oracle-ip-addr 例： Switch(config)# wireless mobility oracle ip 10.10.10.10	Mobility Oracle としてモビリティコントローラを設定します。

```
Switch(config)# wireless mobility group member ip 10.10.10.10 group Group3
Switch(config)# wireless mobility oracle ip 10.10.10.10
```

モビリティコントローラの Mobility Oracle への指定 (GUI)

はじめる前に

既知のモビリティコントローラ上で Mobility Oracle を設定できます。

-
- ステップ 1** [Controller] > [Mobility Management] > [Mobility Global Config] と選択します。
[Mobility Controller Configuration] ページが表示されます。
- ステップ 2** Mobility Oracle の IP アドレスを入力します。
(注) モビリティコントローラ自体を Mobility Oracle にするには、[Mobility Oracle Enabled] チェックボックスを選択します。
- ステップ 3** [Apply] をクリックします。
- ステップ 4** [Save Configuration] をクリックします。
-

ゲストコントローラの設定

ゲストコントローラは、クライアントトラフィックを非武装地帯 (DMZ) のゲストアンカーコントローラへトンネル経由で送信する場合に使用されます。ゲストクライアントは Web 認証プロセスを通過します。Web 認証プロセスは任意です。ゲストは認証なしでトラフィックを渡すこともできます。

ゲストクライアントがゲストコントローラのモビリティアンカーアドレスと接続するモビリティエージェントの WLAN をイネーブルにします。

Cisco 5500 シリーズ WLC、Cisco WiSM2、Cisco 5700 シリーズ WLC などのゲストコントローラ WAN で、独自の IP アドレスとしてモビリティアンカーの IP アドレスを設定します。これにより、トラフィックはモビリティエージェントからゲストコントローラへトンネル経由で送信されます。



-
- (注) Cisco 5700 シリーズ WLC をゲストアンカーコントローラとして、また Cisco 5500 シリーズ WLC または Cisco WiSM2 をエクスポートまたは外部コントローラとした場合、Cisco 5700 シリーズ WLC ではユーザごとのゲストユーザロールはサポートされていません。
-

手順の概要

1. **wlan** *wlan-id*
2. **mobility anchor** *guest-anchor-ip-addr*
3. **client vlan** *vlan-name*
4. **security open**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	wlan <i>wlan-id</i> 例： Switch(config)# wlan Mywlan1	クライアントの WLAN を作成します。
ステップ 2	mobility anchor <i>guest-anchor-ip-addr</i> 例： Switch(config-wlan)# mobility anchor 10.10.10.2	MA でゲストアンカー (GA) の IP アドレスをイネーブルにします。 (注) モビリティコントローラでゲストアンカーをイネーブルにする場合、IP アドレスを入力する必要はありません。WLAN コンフィギュレーションモードで mobility anchor コマンドを入力して、モビリティコントローラの GA をイネーブルにします。
ステップ 3	client vlan <i>vlan-name</i> 例： Switch(config-wlan)# client vlan gc_ga_vlan1	クライアントの WLAN に VLAN を割り当てます。
ステップ 4	security open 例： Switch(config-wlan)# security open	WLAN にセキュリティタイプを割り当てます。

```
Switch(config)# wlan Mywlan1
Switch(config-wlan)# mobility anchor 10.10.10.2
Switch(config-wlan)# client vlan gc_ga_vlan1
Switch(config-wlan)# security open
```

ゲストアンカーの設定

手順の概要

1. **wlan** Mywlan1
2. **mobility anchor** <guest-anchors-own-ip-address>
3. **client vlan**<vlan-name>
4. **security open**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	wlan Mywlan1 例： Switch(config)# wlan Mywlan1	クライアントの WLAN を作成します。
ステップ 2	mobility anchor <guest-anchors-own-ip-address> 例： Switch(config-wlan)# mobility anchor 10.10.10.2	ゲストアンカー (GA) のゲストアンカー IP アドレスをイネーブルにします。GA は自身のアドレスを割り当てます。
ステップ 3	client vlan <vlan-name> 例： Switch(config-wlan)# client vlan gc_ga_vlan1	クライアントの WLAN に VLAN を割り当てます。
ステップ 4	security open 例： Switch(config-wlan)# security open	WLAN にセキュリティタイプを割り当てます。

```
Switch(config)# wlan Mywlan1
Switch(config-wlan)# mobility anchor 10.10.10.2
Switch(config-wlan)# client vlan gc_ga_vlan1
Switch(config-wlan)# security open
```

モビリティ エージェントの設定

モビリティ コントローラの指定によるモビリティ エージェントの設定 (CLI)

はじめる前に

- デフォルトでは、スイッチはモバイル エージェントとして設定されます。
- ネットワークには少なくとも1台のモビリティ コントローラがあり、モビリティ コントローラとのネットワーク接続が動作している必要があります。
- モビリティ エージェントからはモビリティを設定できません。モビリティ エージェントでは、SPG コンフィギュレーションをダウンロードするモビリティ コントローラの IP アドレスだけを設定できます。
- モビリティ エージェントでは、外部モビリティ エージェントを指定するようにモビリティ コントローラアドレスを設定するか、モビリティ コントローラ機能をイネーブルにします。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **wireless management interface vlan 21**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	wireless management interface vlan 21 例： Switch (config)# wireless management interface vlan 21	デバイスのワイヤレス機能をイネーブルにし、モビリティ エージェント機能をアクティブ化します。これにより、APがCAPWAP トンネルを終端する場所を確保できます。

次に、モビリティ コントローラを指定して、モビリティ グループにモビリティ エージェントを追加する例を示します。

```
Switch(config)# wireless management interface vlan 21
```

モビリティコントローラの指定によるモビリティエージェントの設定 (GUI)

はじめる前に

- デフォルトでは、スイッチはモバイルエージェントとして設定されます。
- ネットワークには少なくとも1台のモビリティコントローラがあり、モビリティコントローラとのネットワーク接続が動作している必要があります。
- モビリティエージェントからはモビリティを設定できません。モビリティエージェントでは、SPG コンフィギュレーションをダウンロードするモビリティコントローラの IP アドレスだけを設定できます。
- モビリティエージェントでは、外部モビリティエージェントを指定するようにモビリティコントローラアドレスを設定するか、モビリティコントローラ機能をイネーブルにします。

ステップ 1 [Configuration] > [Controller] > [Mobility Management] > [Mobility Global Config] と選択します。
[Mobility Controller Configuration] ページが表示されます。

ステップ 2 [Mobility Role] ドロップダウン リストから [Mobility Agent] を選択します。

ステップ 3 [Mobility Controller IP Address] にモビリティコントローラの IP アドレスを入力します。

ステップ 4 [Apply] をクリックします。

ステップ 5 [Save Configuration] をクリックします。

ステップ 6 デバイスをリブートします。

モビリティエージェントのモビリティコントローラの設定 (CLI)

手順の概要

1. **wireless mobility controller**
2. **wireless mobility controller ip ip-addr**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	wireless mobility controller 例： <pre>Switch (config)# wireless mobility controller Mobility role changed to Mobility Controller. Please save config and reboot the whole stack.</pre>	スイッチでモビリティ機能をイネーブルにします。 (注) このコマンドの入力後、設定を保存してスイッチをリブートし、モビリティコントローラ機能を有効にします。
ステップ 2	wireless mobility controller ip ip-addr 例： <pre>Switch (config)# wireless mobility controller ip 10.10.21.3</pre>	モバイルエージェントに関連するモビリティ コントローラを指定します。 (注) モバイルエージェントが設定され、モビリティコントローラが別のデバイスにある場合、モビリティコントローラのSPGを設定して、モビリティエージェントが正しく機能するようにします。

次の作業

モビリティエージェントにモビリティコントローラのロールを追加したら、モビリティエージェントに任意のパラメータを設定できます。

モビリティ エージェントへのモビリティ コントローラ ロールの追加

手順の概要

1. wireless mobility controller ip 10.10.21.3

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	wireless mobility controller ip 10.10.21.3 例： <pre>Switch(config)# wireless mobility controller ip 10.10.21.3</pre>	モビリティ エージェントをモビリティ コントローラに変換します。

次に、モビリティ エージェントにモビリティ コントローラ ロールを追加する例を示します。

```
Switch(config)# wireless mobility controller ip 10.10.21.3
Mobility role changed to Mobility Controller.
Please save config and reboot the whole stack.
```

モビリティ エージェントのオプションパラメータの設定 (CLI)

ここでは、スイッチのロード バランシングを設定する方法を示します。

- デフォルトでは、ロード バランシングはイネーブルにされており、ディセーブルにはできません。
- スイッチは最大 2000 のクライアントをサポートし、デフォルト値はクライアントの最大負荷の 50 % です。
- スイッチがしきい値に達すると、同じ SPG 内のより負荷が低いモビリティ エージェントに新しいクライアントの負荷を再配信します。

手順の概要

1. wireless mobility load-balance threshold *threshold-value*

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	wireless mobility load-balance threshold <i>threshold-value</i> 例 : <pre>Switch(config)# wireless mobility load-balance threshold 150</pre>	ロード バランシングをトリガーするしきい値を設定します。